

【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の2第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 2023年6月21日

【事業年度】 第51期(自 2021年8月21日 至 2022年8月20日)

【会社名】 ケイティケイ株式会社

【英訳名】 ktk INC.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 青山 英生

【本店の所在の場所】 名古屋市東区泉二丁目3番3号

【電話番号】 (052)931 - 1881(代表)

【事務連絡者氏名】 専務取締役管理本部長兼グループ戦略本部長 葛西 裕之

【最寄りの連絡場所】 名古屋市東区泉二丁目3番3号

【電話番号】 (052)931 - 1881(代表)

【事務連絡者氏名】 専務取締役管理本部長兼グループ戦略本部長 葛西 裕之

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)  
株式会社名古屋証券取引所  
(愛知県名古屋市中区栄三丁目8番20号)  
ケイティケイ株式会社 東京支店  
(東京都千代田区神田1丁目4番10号 ATS大手町ビル8F)  
ケイティケイ株式会社 大阪支店  
(大阪市中央区南船場一丁目13番14号 南船場スクエアビル4F)

## 1 【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

2022年11月9日に提出いたしました第51期（自 2021年8月21日 至 2022年8月20日）有価証券報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

## 2 【訂正事項】

### 第一部 企業情報

#### 第5 経理の状況

##### 1 連結財務諸表

##### 注記事項

（企業結合等関係）

## 3 【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_\_を付して表示しております。

## 第一部 【企業情報】

### 第5 【経理の状況】

#### 1 【連結財務諸表等】

##### 【注記事項】

（企業結合等関係）

当連結会計年度(自 2021年8月21日 至 2022年8月20日)

(訂正前)

#### 取得による企業結合

##### (1) 企業結合の概要

被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社イコリス

事業の内容 EC事業

企業結合を行った主な理由

株式会社イコリスは、2020年に創業したスタートアップ企業です。同社では「"THE ANSWER" for YOUR FUTURE あなたの未来に、必要な応えを」を掲げ、アルゴリズム解析・データ分析・デザイン・広告運用等、デジタルマーケティングを活用した EC事業を展開しています。

当社は「Change the office mirai」をグループビジョンとし、リユース・リサイクルによるサステナブル商品をはじめとしたオフィスサプライとITソリューションで、オフィスの未来を共に考え、変えていくことを使命としています。そしてこの度、2024年8月期までの中期経営計画「Growth Plan」に具体施策として掲げた「新たな販売手法・チャネル開拓」「資本提携機会の探索」の実現を目指す中、DXでオフィスの未来を変えるという同じ志を持つ、株式会社イコリスとの資本提携に至りました。

企業結合日 2022年3月31日

企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

結合後企業の名称

変更ありません。

取得した議決権比率

企業結合日に取得した議決権比率 100%

取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として、株式を取得したためであります。

##### (2) 連結財務諸表に含まれている被取得企業の業績の期間

2022年4月1日から2022年7月31日まで

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳  
株式譲渡契約書における秘密保持の定めにより非開示としております。

(4) 主要な取得関連費用の内容及び金額  
株式譲渡契約書における秘密保持の定めにより非開示としております。

(5) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間  
発生したのれん金額 248,165千円  
発生原因  
主として株式会社イコリスがEC事業を展開することによって期待される超過収益力であります。  
償却方法及び償却期間  
6年間にわたる均等償却

(6) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	135,294千円
固定資産	4,623千円
資産合計	139,918千円
流動負債	28,449千円
固定負債	80,457千円
負債合計	108,906千円

(7) 企業結合が連結会計年度の開始の日に完了したと仮定した場合の当連結会計年度の連結損益計算書に及ぼす影響の概算額及びその算定方法

当連結会計年度の連結損益計算書に及ぼす影響額が軽微であるため、記載を省略しております。なお、当該注記については監査証明をうけておりません。

(訂正後)

取得による企業結合

(1) 企業結合の概要

被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社イコリス

事業の内容 EC事業

企業結合を行った主な理由

株式会社イコリスは、2020年に創業したスタートアップ企業です。同社では「"THE ANSWER" for YOUR FUTURE あなたの未来に、必要な応えを」を掲げ、アルゴリズム解析・データ分析・デザイン・広告運用等、デジタルマーケティングを活用したEC事業を展開しています。

当社は「Change the office mirai」をグループビジョンとし、リユース・リサイクルによるサステナブル商品をはじめとしたオフィスサプライとITソリューションで、オフィスの未来を共に考え、変えていくことを使命としています。そしてこの度、2024年8月期までの中期経営計画「Growth Plan」に具体施策として掲げた「新たな販売手法・チャネル開拓」「資本提携機会の探索」の実現を目指す中、DXでオフィスの未来を変えるという同じ志を持つ、株式会社イコリスとの資本提携に至りました。

企業結合日 2022年3月31日

企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

結合後企業の名称

変更ありません。

取得した議決権比率

企業結合日に取得した議決権比率 100%

取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として、株式を取得したためであります。

(2) 連結財務諸表に含まれている被取得企業の業績の期間

2022年4月1日から2022年7月31日まで

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	273,000千円
取得原価		273,000千円

(4) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 19,490千円

(5) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

発生したのれん金額 248,165千円

発生原因

主として株式会社イコリスがEC事業を展開することによって期待される超過収益力であります。

償却方法及び償却期間

6年間にわたる均等償却

(6) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	115,255千円
固定資産	623千円
資産合計	115,879千円
流動負債	60,485千円
固定負債	30,558千円
負債合計	91,044千円

(7) 企業結合が連結会計年度の開始の日に完了したと仮定した場合の当連結会計年度の連結損益計算書に及ぼす影響の概算額及びその算定方法

当連結会計年度の連結損益計算書に及ぼす影響額が軽微であるため、記載を省略しております。なお、当該注記については監査証明をうけておりません。